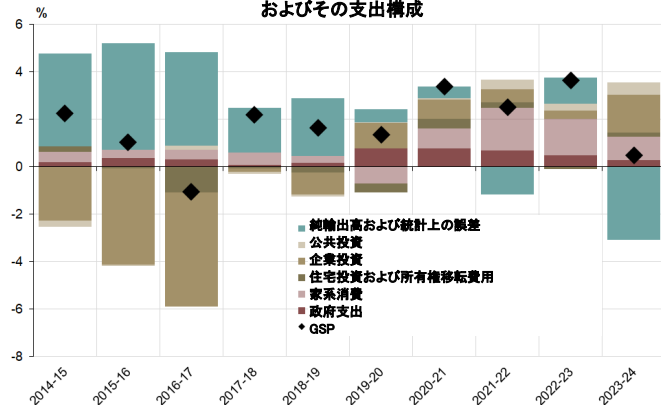


西オーストラリア州関連データハイライト

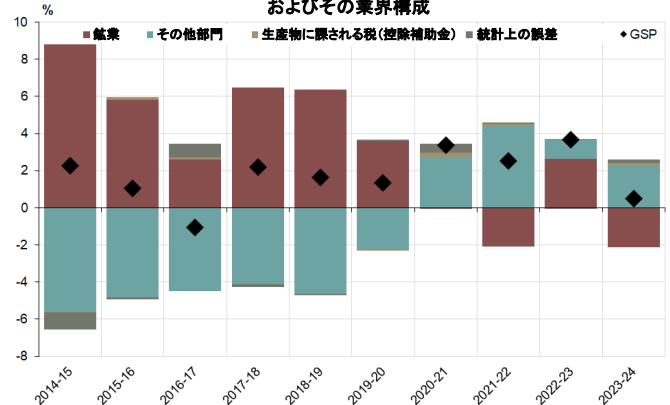
- 西オーストラリア州の州内総生産は2023-24年に0.5%増加したが、天候不順による鉱業産出量の減少がみられた。
- 西オーストラリア州の賃金物価指数は第3四半期に1.2%(未調整)上昇し、通年で3.5%の上昇となった。
- 西オーストラリア州の雇用者数は10月に1,100人減少し、失業率は4.0%に上昇した。
- パースの住宅価格は11月に1.1%増加し、全州都で最も高い伸びとなった。

2023-24年州内総生産

- 西オーストラリア州の州内総生産は2023-24年に0.5%増加したが、これは過去年度よりも大幅に低く、2023-24年のオーストラリアの国内総生産成長率1.4%を下回った。
- 2023-24年の州内総生産成長率の急激な鈍化の原因は純輸出高の減少で、財輸出額の3.6%減少ならびに財輸入額(+10.3%)およびサービス輸入額(+27.7%)の急増が成長を3.8ポイント押し下げた。
- 一方、西オーストラリア州内の成長は引き続き堅調で、州内最終需要は2023-24年には前年度の3.2%を大きく上回る5.8%となった。州内最終需要のこの伸びは全州で最大でもあり、クイーンズランド州(+3.1%)、ビクトリア州(+2.0%)、南オーストラリア州(+1.8%)、ニューサウスウェールズ州(+1.6%)を大きく上回った。
- 州内成長の構成は多岐にわたり、主要支出カテゴリすべてがプラスとなった。成長に最も貢献(+1.6ポイント)したのが、資源部門の大規模プロジェクトにより13.4%増となった企業投資であった。これに続いたのが、3.1%増で成長を1.0ポイント押し上げた家計消費であった。住宅投資および所有権移転費用は合わせてわずか0.2ポイントの押し上げであった。堅調な貢献を見せたのが政府支出で、公共部門投資は17%増で0.5ポイント、政府消費支出は2.3%増で0.3ポイントそれぞれ成長を押し上げた。
- 財輸出額の減少は鉱業部門の事業鈍化を反映しており、総付加価値は2.1%減で生産測度である州内総生産成長率を1.0ポイント押し下げた。オーストラリア統計局によれば、鉱業産出量の減少は天候不順が金属鉱石(主に鉄鉱石)の操業および物流ならびに化石燃料の採掘に影響を及ぼしたことが原因だった。石油およびガス生産は保守点検事業の影響も受けた。鉱業産出量の減少を相殺したのがその他部門での生産増で、最も大きく寄与したのが5.4%増で成長を0.3ポイント押し上げた建設事業と、4.5%増で成長を0.2ポイント押し上げた医療・社会扶助部門であった。

西オーストラリア州の州内総生産成長率
およびその支出構成

出典：Australian Bureau of Statistics

西オーストラリア州の州内総生産成長率
およびその業界構成

オーストラリア金利(%)			為替と株価		
RBA 政策金利目標	4.35	(0 pt)	AUD/USD	0.6512	(↓1.1%)
90日銀行手形	4.43	(↑1 pt)	AUD/JPY	97.51	(↓2.6%)
連邦政府3年国債	3.91	(↓11 pt)			
連邦政府10年国債	4.34	(↓16 pt)	ASX200	8436	(↑276 pt)

市場概況

- 予想されたとおり、RBAは11月に政策金利目標4.35%を含む金利を据え置いた。
- 11月のオーストラリア国債利回りおよびWATC利回りは下落したが、これはドナルド・トランプ氏の選挙公約が実行された場合のインフレ上昇と公債の増加に対する懸念が契機となって、米国ベンチマーク利回りが米国大統領選挙前後に急騰したのち下落したことを受けての動きであった。
- 11月の豪ドルはより強い米ドルと日本円に対して下落した。米ドルは米国大統領選挙後のFF金利引下げという金融緩和期待が追い風となった一方、日本円は日銀によるさらなる金利引上げに対する期待の高まりに支えられた。豪ドルのセンチメントもオーストラリア最大の貿易相手国である中国の経済見通しに対する懸念から弱まったが、そうした懸念の背景には依然として期待外れなままの中国政府の景気刺激策があった。
- 11月のASX200は3.4%上昇し、月後半に過去最高を記録した。株式市場の反騰は、トランプ氏の米大統領復帰決定後の米国の成長および規制緩和の加速に対する期待を受けた、世界的な市場センチメントの改善を反映したものであった。

満期	利回り		AGS スプレッド	
	2024年11月29日		2024年11月29日	
2026年10月21日	4.14	(↓7 pt)	+14 pt	(↓1 pt)
2027年10月21日	4.12	(↓11 pt)	+19 pt	(↓1 pt)
2028年7月20日	4.19	(↓11 pt)	+26 pt	(0 pt)
2029年7月24日	4.29	(↓14 pt)	+35 pt	(↓2 pt)
2030年10月22日	4.43	(↓17 pt)	+37 pt	(0 pt)
2031年10月22日	4.58	(↓17 pt)	+43 pt	(↓2 pt)
2032年7月21日	4.66	(↓19 pt)	+44 pt	(↓5 pt)
2033年7月20日*	4.75	(↓17 pt)	+47 pt	(↓3 pt)
2034年10月24日	4.93	(↓18 pt)	+61 pt	(↓1 pt)
2041年7月23日	5.25	(↓21 pt)	+59 pt	(↓4 pt)

*グリーンボンド

